

1人1台端末の活用による実践事例 （小・中学校用）

学校名	奈義町立奈義小学校	実践者名	竹内 佳代子
教 科	理科	学年	第 4 学年
活用内容	撮影、記録、	実践日	令和 3 年 10 月 15 日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 1
単元・内容等	秋の生き物（季節と生き物のようす）		
活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）			
【年間をととしての学習活動の概要】 1 年間継続して観察している「サクラ」と「イチヨウ」。四季それぞれの様子を写真に撮り、気付いたことともにクラウドに保存する。季節ごとの記録を比較する。 【本時（秋のようすの観察）】 (1) 春や夏と比べて様子が変わっているところを探しながら、写真を撮る。 (2) 撮った写真を画面上で拡大するなど、より詳細に観察し、変化している様子を見つけ、観察シートにまとめる。 【使用アプリ】 カメラ スライド スプレッドシート			
			
実践者の手ごたえ		児童生徒・保護者等の主な反応や声	
写真が各自の手元にあるので、観察の視点を共有することができ、季節による変化が捉えやすい。また、画像がクラウドに保存されるので、継続的な観察が行いやすい。今後、スライドに観察記録をまとめる予定である。		（児童のようす） 観察した際に記録するスケッチが苦手な児童も、端末による撮影だと意欲的に活動に参加することができた。 （児童から） 「季節ごとに変化した点を見つけ、写真に撮るのが楽しかった。たくさん見つけることができた。」「秋の時点でも、サクラにちいさなつぼみのような芽があることが分かり驚いた。」	